

竜巻防護の設計に係る考え方の整理に係る対応方針

共通12に係る対応方針の基本事項

- 振り返りで確認した内容は、その後の対応作業につなげるため、振り返りの各項目についての対応方針まで記載し、ヒアリングの中で確認、又は、対応方針を社内で整理して後日コメントリストとして提出する方法で対応する。これにより、対応方針を具体化することで作業者の理解が進み、関係者が共通認識を持った上で対応していく。
- 対応することの目的を明確にすること、その目的を達成するために実施すべきことが明確になるよう、対応方針を整理する。対応すべき目的を踏まえ、対応の単位を念頭に分類して整理する。
- 本対応方針において、目的として各項目を設定し、その項目ごとに関係する指摘事項を集約し、複数の指摘事項をもとに、具体的に目的に対してどのような方針で対応していくのかを記載する。
- 対応方針については、大きな項目として全体としてどのように対応していくのか、を示すものであることから、細かく項目を分けて示すことはしない。ただし、記載の修正等の内容については、留意事項等として整理する等で、反映事項を明確にするように対応する。
- ヒアリングで議論した箇所の対応だけでなく、その他の資料に対し水平展開が必要かどうかを確認しながら資料作成を進める。

※対応済みの方針は共通12における該当箇所を記載

No	対応方針	対応予定日※	他のタスクとの関係性	ヒアリング
1. 共通12資料2事前作業				
1.1 設計説明分類等の整理				
1.1-1	共通12資料2の事前作業に必要となる設計説明分類及び説明グループの整理については、別途実施している共通12の説明（本文、設計説明分類）にて対応中。 現時点での設計説明分類案は以下の通り。 外的事象_対策設備_竜巻防護対策設備_飛来物防護ネット 外的事象_対策設備_竜巻防護対策設備_飛来物防護板 外的事象_防護対象等_屋外_建物・構築物 外的事象_防護対象等_屋外_機器・配管 内的事象_防護対象等_屋内_機器・配管	—	・共通12の説明（本文、設計説明分類）から最新情報を反映	8/17
1.2 設計説明分類間の共通項目を踏まえ代表する設計説明分類の整理				
1.2-1	<目的> ・設計説明分類間の共通する設計要求を基本設計方針に基づき整理し、設計説明分類間のうち代表として説明する設計説明分類を選定する。代表の選定にあたっては、より多くの説明が可能となる設計説明分類を選定する。 <共通する設計要求の整理> ➡縦軸に8条竜巻の基本設計方針を並べる。 ➡横軸に基本設計方針の記載順に合わせて設計説明分類を左から並べる。 ➡基本設計方針の記載に対して、「外竜巻00別紙2」の要求種別を参考に冒頭宣言、定義、運用要求に係るものを判別する。 ➡「外竜巻00別紙2」を参照して基本設計方針に紐づく「主な設備」から、当該の基本設計方針と関係する設計説明分類を特定し、設計要求内容を記載する。 ➡異なる設計説明分類間での共通する設計要求内容を特定し、共通であると考えられる理由について示す。 <代表の設計説明分類の整理> ➡一つの分類で多くの内容を説明できるよう多くの設計要求事項を受け取るものから代表を選定する。	竜巻防護の設計に係る考え方の整理 添付1として9/14提出予定	・外竜巻00別紙2へのフィードバック	8/17 8/24 9/5

No	対応方針	対応予定日※	他のタスクとの関係性	ヒアリング
1.2-2	<p><目的></p> <ul style="list-style-type: none"> ・1.2-1項の結果に対して1.3項の整理を元にSAの個別に説明する基本設計方針を付け加えて整理し、設計説明分類のうち代表として説明する設計説明分類を選定する。代表の選定にあたっては、より多くの説明が可能となる設計説明分類を選定する。 <p><共通する設計要求の整理></p> <ul style="list-style-type: none"> ➡縦軸の8条竜巻の基本設計方針にSAの個別に説明する基本設計方針を追加する。 ➡SAの個別に説明する基本設計方針の記載に対して、「重事00別紙2」の要求種別を参考に冒頭宣言、定義、運用要求に係るものを判別する。 ➡「外竜巻00別紙2」, 「重事00別紙2」を参照して基本設計方針に基づく「主な設備」から、当該の基本設計方針と関係する設計説明分類を特定し、設計要求内容を記載する。 ➡異なる設計説明分類間での共通する設計要求内容を特定し、共通であると考えられる理由について示す。 <p><代表の設計説明分類の整理></p> <ul style="list-style-type: none"> ➡一つの分類で多くの内容を説明できるよう多くの設計要求事項を受け取るものから代表を選定する。 	1.2-1項, 1.3項の説明を踏まえて期日を設定する。	・外竜巻00別紙2へのフィードバック ・重事00別紙2へのフィードバック	—
1.3 SA設備とDB設備の設計方針の対応関係整理				
1.3-1	<p><目的></p> <ul style="list-style-type: none"> ・DBとSAの竜巻に係る基本設計方針を比較し、設計方針の対応関係を整理する。 ➡「安全審査 整理資料 第33条 重大事故等対処設備 補足説明資料2-2 添付-1(令和2年7月13日R29)」のフォーマットを用いて、DBの第1章の基本設計（竜巻）に対応するSA（竜巻）の基本設計を横に展開する。（環境条件のみならず、36条要求のうち位置的分散などの竜巻に係るもの含む） ➡設計方針の対応関係を整理する。 	竜巻防護の設計に係る考え方の整理 添付3として9/14提出予定	—	9/5
1.3-2	<p><目的></p> <ul style="list-style-type: none"> ・竜巻に係るSAの設計のうちDBの説明に含めて説明できる設計要求内容とSAで個別に説明する設計要求内容を明らかにする。 ➡1.3-1項で整理したDB/SAの基本設計方針の比較に紐づける形で、DBの設計要求内容を縦軸に並べる。 ➡SAについても同様にDB/SAの基本設計方針の比較に紐づける形で、SAの設計要求内容を縦軸に並べる。 ➡DBの設計要求内容に対応するSAの設計要求内容を整理する。 ➡設計要求内容を比較・分析することで、要求事項を達成するための対策内容に係るDB/SAの設計の差異を抽出する。SAの設計のうち、DBの説明に含めて説明できる設計要求内容及び個別に説明する設計要求内容を明らかにする。 			
2. 共通 1 2 資料 3 事前作業				
2.1 設計説明分類内での代表設備の整理				
2.1-1	<p><目的></p> <p>設計説明分類内の設備から代表設備を選定するために、共通して説明出来る設備を整理する。</p> <p><共通するの整理></p> <ul style="list-style-type: none"> ➡1.2-1項で整理した設計説明分類と基本設計方針との関係を元に設計説明分類毎に係る基本設計方針を縦軸に展開する。 ➡横軸に資料1の設備リストに掲載している機器のうち同じ設計説明分類に属する機器を並べ、全て同じ説明項目となる施設（設備）を統合する。 	竜巻防護の設計に係る考え方の整理 添付2として9/14提出予定	—	8/17 8/24 9/5

No	対応方針	対応予定日※	他のタスクとの関係性	ヒアリング
2.1-2	<p><目的> 2.1-1項の結果に対して1.3項のSA設備の整理結果を加えて、共通して説明出来る設備を整理する。 ➡2.1-1項で整理した設計説明分類と基本設計方針との関係を元に設計説明分類毎に關係する基本設計方針を縦軸に展開する。 ➡横軸に資料1の設備リストに掲載している機器のうち同じ設計説明分類に属する機器を並べ、全て同じ説明項目となる施設（設備）を統合する。</p>	次回ヒアリングに合わせてご説明	—	9/5
2.1-3	<p><目的> 2.1-2項の各設備と基本設計方針の対応關係に詳細設計方針を加えて代表設備と差分説明項目の整理を行う。 代表の選定にあたっては、2.1-2項からより多くの説明が可能となる設備を選定する。 ➡2.1-2項で整理した設計説明分類毎の表の縦軸に「外竜巻00別紙2」の添付書類構成を元に詳細設計方針を展開する。 ➡2.1-2項で整理した設計説明分類毎の表の横軸に展開する ➡交点に詳細設計方針から構造設計，評価項目の内容を記載する。 <代表機器の整理，差分説明項目の整理> ➡一つの設備で多くの内容を説明できるよう共通項目が多い設備から代表を選定する。 ➡代表に含まれない項目については，差分説明となる。</p>	2.1-2項の説明を踏まえて期日を設定する。	—	—
2.2 資料3の記載事項の整理				
2.2-1	<p>2.1-3項で選定した代表設備，差分説明を共通1 2資料3①，②のフォーマットを用いてシステム，配置，構造，評価について一部先行して作成し記載を整理する。 ➡構造設計と評価の關係について整理する。 （詳細な対応方針については検討中）</p>	2.1-3の説明と合わせてを説明	—	—
3. 共通1 2資料4事前作業				
	(整理中)	—	—	—